

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		合志市中小企業振興基本条例策定事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	産業振興部	課長名	米澤 俊一
	施策	12	商工業の振興			所属課	商工振興課	担当者名	森山 邦彦
	基本事業	34	生産・販売力の強化			所属班	地域ブランド推進室	(内線)	2321
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠		成果優先度評価結果
		1	7	1	2	11436			コスト削減優先度評価結果
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・市内の中小企業の振興や健全な発展のため、市が国との適切な役割分担を踏まえて、自然的経済的社会的諸条件に応じた施策に取り組むための基本条例を策定する事業 ・平成21年5月25日に、合志市商工会から市と議会へ「合志市中小企業振興基本条例制定に関する要望書」が提出され、6月議会で、同請願が全員一致で採択された。 ・昨年来の世界的な経済不況の影響が、地元中小企業の経営環境にも影響を及ぼしており、個人消費や設備投資の減衰、売上げ減少等による資金繰り難など厳しい状況が続いている。
【業務の流れ】	H21: H22新規事業事前評価シート及び企画案作成。情報収集作業。 H22: 中小企業主や農業者、市民などで構成される条例検討委員会を立ち上げて提言書を作成。提言書から草案、原案への検討。パブリックコメント実施、総合政策審議会への諮問、答申。議会上程。
【主な予算費目】	委員報酬(3.7千円×20人×10回=740千円)、費用弁償(2.2千円×20人×10回=440千円)、委託料(1,200千円)、時間外(2.5千円×2人×2H×20回=200千円)、消耗品(20千円)、役務費(80円×720団体×2回=115.2千円)、計:2,715.2千円
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	合志市商工会から市へ「合志市中小企業振興基本条例制定に関する要望書」が提出(H21.5.25)された。6月議会で、商工会からの「合志市中小企業振興基本条例制定に関する要望書」の請願が全員一致で採択された。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 条例検討委員会(委員20名)の開催(10回)、商工業者へのアンケートの実施、条例素案の作成、パブコメの実施、政策審議会への諮問・答申、条例案の作成、議会上程
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 ⇒ア:委員会開催回数	(単位) 回 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 合志市中小企業振興基本条例	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア:件数 件 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 策定する。	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア:作成された条例の数 件 イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 回						10		
⑤ 対象指標	ア 件						1		
⑥ 成果指標	ア 件						1		
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円					2,716	
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	2,716	0	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円					200		
	人 件 費	正規職員従事人数	人					5	
延べ業務時間		時間					524		
(B)人件費計		千円	0	0	0	0	2,086	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	4,802	0	0

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0
0

事務事業名	合志市中小企業振興基本条例策定事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策